感染症等情報紙
はっする

第 113 号
平成２５年
９月１１日発行

福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター

福井県内で採取されたマダニ類から重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス確認

主に中国で患者が発生していた、ダニ媒介性の新しい感染症「重症熱性血小板減少症候群」が、日本国内でも発生しており、さかのぼり調査結果を含めると、平成 17 年以降に計 39 名の患者が九州、四国、中国、近畿地方の 13 県から報告されています。また、国内のいくつかの地点で採取したマダニを調査したところ、患者が報告されていない福井県等でも SFTS ウイルスを保有しているマダニが確認されました。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは？

SFTS ウイルスをもったマダニ類（写真参照）に咬まれることによって感染します。主な症状は、発熱と消化器症状（食欲低下、おう吐、腹痛、下痢等）で、検査所見では、血小板や白血球の減少等がみられ、重症化し、死亡する場合があります。

詳細は・・・厚労省　SFTS　Q&A　検　索

～医療機関の先生方へ～

SFTS を疑う患者を診察された場合は、検体採取し、直ちに当センターまでご連絡ください。

※検体…血清または血液

血液の場合は、抗凝固剤（EDTA またはクエン酸を使用、ヘパリン不可）入りの採血スピッツに入れて混和後、冷蔵保存（4℃）してください。

種類にもよりますが、吸血前で３～８㎜、吸血後は１０～２０㎜程度の大きさです。

フタトゲチマダニ

タカサゴキララマダニ

野外で作業を行う場合は、ダニ類に咬まれないように注意！

◆予防方法◆

・森林、草むら、やぶ等に入る場合は、肌の露出の少ない服装をしましょう。虫よけスプレー等を併用すれば、より効果的です。

◆帰宅後の注意点◆

・屋外での活動後は、マダニ等が皮膚にくっついていないか注意深く確認しましょう。

・マダニ等が皮膚にくっついている場合、無理にマダニ等を引き抜こうとせず、医療機関で処置をしてもらいましょう。

・咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱や消化器症状等が出てきた場合は受診しましょう。

９月 24 日～30 日は、結核予防週間です

日本では、今でも 1 日に 62 名の新たな患者が発生しています。

＜日本の結核、6 つの問題点＞

① 若者の結核も要注意
② 働き盛りの人の発見遅れ
③ 外国人の割合が拡大
④ 感染者がますます高齢化
⑤ 地域格差あり
⑥ HIV/エイズの合併症

～学校関係の方へ～

9 月 2 日からインフルエンザ様疾患の集団発生状況の把握を開始しましたので、当センターへの報告または学校欠席者情報収集システムへの入力をお願いします。

福井県感染症発生動向調査速報

（第 32 週　H25年 8/5～第 35 週　H25年 9/1）

2 類:結核 4 名　3 類:腸管出血性大腸菌感染症 4 名
4 類:レジオネラ症 1 名
5 類:侵襲性肺炎球菌感染症 1 名、風しん 1 名
アメーバ赤痢 2 名

［発信者］　若狭健康福祉センター
地域保健課　木村・齊藤
TEL：0770-52-1300　FAX:0770-52-1058
ﾒｰﾙ：w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp
※ご意見ご感想をお待ちしています。